

FAQ**PPFからIPPFへの改定についてよくある質問**

Q1. 「専門職的实施のフレームワーク (The Professional Practices Framework ; PPF)」とは何ですか。

A1. 内部監査に関わる専門職に就く者を支援する目的で、2004年1月に、米国の内部監査人協会 (The Institute of Internal Auditors, Inc ; IIA) によって採用された、内部監査業務のガイダンス (入門的解説) です。

公認内部監査人 (Certified Internal Auditor ; CIA) の資格認定試験においては、これまで、PPFの詳細に関する理解は、Part I 「ガバナンス、リスク、コントロールにおける内部監査の役割」およびPart II 「内部監査の実施」で出題される試験問題を解くために必要な知識とされていました。

Q2. 「専門職的实施の国際フレームワーク (The International Professional Practices Framework ; IPPF)」とは何ですか。

A2. PPFに替わって、米国IIAによって採用および公表された、内部監査業務のガイダンスです。

PPFは2006年より改定作業が進められ、2009年1月1日より、新たに「専門職的实施の国際フレームワーク (The International Professional Practices Framework ; IPPF)」が採用されました。

今後、CIA資格認定試験においては、PPFではなく、IPPFの詳細に関する理解が、Part I 「ガバナンス、リスク、コントロールにおける内部監査の役割」およびPart II 「内部監査の実施」で出題される試験問題を解くために必要な知識となります。

Q3. 日本での、IPPFの扱いはどうなっていますか。

A3. (社) 日本内部監査協会は、米国IIAが2008年10月1日にIPPFを仮公表したのに合わせ、公式サイトで“新「内部監査の専門職的实施の国際基準」(社) 日本内部監査協会事務局仮訳”(IPPFの仮訳) を公表しています。

(<http://www.iaajapan.com/guide/kijun.htm> 参照)

ただし、仮訳は、あくまで米国IIAのIPPF仮公表版（2008年10月1日公表）を基にしたものですので、今後の予定としては、2009年1月に米国IIAが公表したIPPF正式版の日本語訳を公表し、書籍として出版するとしています。正式なIPPF日本語訳の公表時期、出版時期については、2009年6月現在、（社）日本内部監査協会から公式に発表されていません。

したがって、現時点では、IPPFの正式な日本語版は存在しません。

Q4. CIA資格認定試験の問題が、IPPFに合わせたものに変更されるのはいつからですか。

A4. （社）日本内部監査協会では、「2009年7月1日までは、IPPFからの新しい題材を試験に組み入れ始めない。」としか言及していません。したがって、いつから変更になるのかは不明となります。

(http://www.iiajapan.com/system/iiia_info.html#IPPF 参照)

Q5. CIA資格認定試験の問題が、IPPFに合わせたものになった場合、これまでPPFについて学習した知識は無駄になるのですか。また、PPFに合わせて作られたテキストやトレーニングは使えなくなるのですか。

A5. いいえ、TACではそのように判断しておりません。

TACでは、A3.でご紹介した（社）日本内部監査協会のIPPF仮訳を解析し、PPFの記述の、どの部分がどのように変更されたかを検証いたしました。その結果、PPFにおける表現の語気を強めたり（「~すべき」が「~しなくてはならない」に変更される等）、実践要綱や従来のCIA資格認定試験問題において、「内部監査人の行動として正しいもの、あるいは望ましいもの」として追認されてきた事柄を、正式にIPPFにおける「内部監査の専門職的実施の国際基準」（以下、基準）に組み込んだものがほとんどであることが判明いたしました。したがって、PPFに準拠した、従来のCIA資格認定試験問題において正解であったものが、IPPFに準拠した新問題では不正解になる、といった極端な状況は起こりえないと考えます。

また、米国IIAから（社）日本内部監査協会に届いた通達には、「2009年7月1日より前であっても、試験問題中にIPPFに言及した文言が出てくるかも

しれないが、PPFとIPPFのどちらが言及されようが、正解は変わらない」という一文があります。この文では、7月1日以降に正解が変わるかどうかを明言してはおりませんが、ただ、もし7月1日以降に正解が変わるという含意を含むのであれば、「7月1日より前であっても」ではなく「7月1日より前については」と表現されると思われます。

加えて、A3.でも述べましたように、現在、IPPFの正式な日本語版は存在しないという事情があります。そういった状況で、日本語版CIA資格認定試験をIPPF準拠とすることは実務上難しい面があり、したがって、IPPFからの新しい題材を本試験に組み入れるのも、いきなり全面的に行うのではなく、漸進的に行うものと考えられます。よって、当初は問題の変更も小規模かつ影響も軽微であると思われます。

以上のことから、TACでは、今後のCIA資格認定試験の出題動向を引き続き注視してまいります。同時に、PPFについて学習した知識は相変わらず重要であり（IPPFでPPFの記述内容が否定されている箇所はありません）、その上で、IPPFで新たに付記された記述を追加的に学習することが最も効率的と考えます。その場合、追加的に学習しなくてはならない知識の量も、決して多くはありません。

2009年6月30日

TAC 公認内部監査人(CIA)講座